



Friendly has two chefs,
each specialized for western and Japanese dishes.
Choose one of their set menus to taste and smile.

笑顔の映る満腹食堂

シェフの作る家庭料理の店 フレンディ

根 津駅の近くに水利環境工学研究室の飯田俊彰准教授行きつけの定食屋があると聞いて、案内を乞うた。言問通りを歩くこと7分、不忍通りの交差点の先にその店はある。「シェフの作る家庭料理の店 フレンディ」。ジャズの流れるレトロな食堂だ。

「いらっしやい」とにこやかに迎えてくれたのは鈴木浩子さん。30年ほど前、勤めを辞めてご主人の保孝さん^{やすたか}のところに嫁いだものの、飲食店のことはなにも知らなかった。以来、ぶっつけ本番の客商売だ。

生まれたばかりの赤ん坊を籠に入れて店に出る。無銭飲食の被害に遭う。やりくりがつかず泣く泣く料理人に辞めてもらう。苦労話は尽きないが、やがて持ち前の明るさと心くばりで浩子さんは馴染み客を増やしていく。

厨房はその後、保孝さんが引き継いだ。洋食だけではどうも心もとないので、京都で板前をしていた浩子さんの弟の義朗^{よしろう}さんと呼んでメニューに和食を加えた。だからこの店には和洋二人のシェフがいる。

今日のおすすめは豚の角煮定食。油を抑えたあっさり味ながらトロトロの食感。付け合わせのあんかけ大根もほんのり



柚子が香る京風仕立てだ。浩子さんがワラサの照り焼きを運んできた。訊くと、魚は値段にこだわらず味の乗った旬のものを選んで出すとのことだ。

飯田先生はここに通いはじめてもう8年。研究の合間に夕食を食べに来る。「雰囲気がよくて、落ち着けますよ。最近はこのお店が減ってきたので貴重です」。ご鼻頂のお客には専用のマイ箸を進呈し、閉店間際に来たときは残りご飯でなく、わざわざお米を研いで炊きたてを出すこともある。「自分がそうしてくれたら嬉しいと思うことをするだけ」と浩子さんは言う。

ふと、レジの前に置かれている鏡が目についたので「これは?」と訊いてみると浩子さんが言った。「疲れた顔で入ってきた人も、出ていくときは笑顔になる。それを見てほしいの。ご飯を食べるときくらい楽しく食べなくちゃ」。根津に30余年続く笑顔満腹食堂だ。



Information

◎お問い合わせ
フレンディ

住所:文京区根津2-18-12 鈴木ビル2F

電話:03-3822-8429

<営業時間> 11:30~14:00 / 18:00~21:45

祝日は18:00~21:15 日曜定休

常連さんのために用意したマイ箸を見せる鈴木浩子さんとご鼻頂の飯田俊彰准教授